

働く人の声をお届けます

【山形労働局】

仕事の魅力発信!

「建設」の仕事について、どんなイメージを持っていますか？
チャレンジしてみたいけれど、実態がわからなくて不安…、
という方も多いのではないのでしょうか？
そこで、実際に「建設」の現場で働いている方々にお話を伺いました。
現場のリアルな声を通して、「建設」の仕事の魅力をお伝えします。

建設

Construction workers
Real Voice!

地図に残る仕事がしたかった。 子育て終了後もずっと続けたい!

株式会社新東京ジオ・システム
測量設計士(6年目)



土砂災害による被害を未然に防いだり、最小限にとどめるための設備の設計に携わる仕事をしています。実際に地すべりや雪崩が起きた現場へ行って測量調査をしたり、被害防止柵の配置場所を設計、作図したりしています。学生の頃から「地図に残るものを作りたい」という気持ちがあり、それが建設業を目指したきっかけです。

今は3人の子育てと仕事を両立中。産休・育休からの復帰後も同じ仕事内容で、時短勤務を利用して働いています。妊娠中は現場仕事を免除して頂いたり、復帰後も子どもの都合で早退させて頂いたり、周囲が快くフォローしてくださいました。こうして育児しながらも仕事を頑張れるのは、子どもが原動力でもありますし、子育て終了後も働き続けたい「自分の将来像をイメージできる仕事」だったというのが大きいです。建設業は人のためになる、基盤となる大事な仕事であり、地図にも残るとてもやりがいのある魅力的な仕事だと思います。

想像以上にデジタルで、 資格取得に積極的な業界。

株式会社双葉建設コンサルタント
ICT業務(1年目)

現在はICT(情報通信技術)の部署で水道台帳の作成に携わっています。現地で写真撮影や寸法測定をし、それを元にPCで水道の配管等をデータ化、見える化していきます。前職では機械の保全業務をしていましたが、その中で見える化や効率化のプログラム作成をしているうちに「もっとPCについて専門性のある業務に取り組みたい」と思い、ICT職を募集していた今の職場に入社しました。建設業は想像以上にデジタルな業界だったのが驚きでした。どんどん紙ベースから電子化している転換期なので、ICT業務の量が多くなっています。

最近ではドローン操縦認定を受け、ドローンを用いた測量業務も手伝わさせていただきながら、測量士の資格取得のために勉強中です。自分も測量やICTは全くの未経験でしたが、この業界は勉強したいことがあれば資格取得や講習会に積極的に参加させてくれます。未経験でもあまり心配しないで選んでいただければと思います。



現場の管理者と父親を両立！ 日曜日は子どもとの時間です。

株式会社石川

塗装施工管理（22年目）



橋桁や道路の塗装工事の施工管理をしています。現場で下請け業者さんへ指示を出し、工程管理、品質管理等を行います。なかなか計画通りに行かないことも多いのが現場ですが、様々な業種の方から知恵をお借りして当初の予定以上に良いモノができた時はやりがいを感じます。最近では化学物質の取扱いに対する法改正もあって、これまで以上に作業員に対しての安全指導、安全管理に気をつけています。

父親がペンキ屋で子どもの頃から塗装が身近にあったこともあり、自分も自然と塗装の道に進んだような気もします。第2子誕生の際、共働きで第1子がまだ小さかったので、育児休業を利用しました。驚くほどすんなり取得させてもらえましたね。現場が遠い時には何日か家に帰れない事もありますが、日曜日は必ず休んで、子どもとの時間に当てるようにしています。自分が父に言われたように、ペンキ塗りの話なんかもしていますね。

気軽に相談できる環境！ 資格取得へのサポートも手厚い。

株式会社山形組

土木部主任（8年目）

建築・土木・水道の工事に携わる総合建設業で土木工事の施工管理をしており、業務内容は工程管理、品質管理、予算管理、安全管理など多岐に渡ります。自分の関わったものが地図に載り、子や孫まで残っていくと思うととても誇らしく思います。

当社は特別有給休暇制度等の福利厚生がしっかりしていて休みも取りやすいし、お互いにフォローし合いながら仕事を進めたり、気軽に相談できる環境が整っていて働きやすい職場です。また、会社全体で資格取得に力を入れており、社員同士で教えあい励まし合いながら資格取得を目指しています。資格のための研修も会社が受験料、交通費、登録料などを負担してくれるので、費用を気にせずに試験に臨む事ができます。今後はさらに経験を積み、自分が上司や先輩方にしていただいたように、後輩たちに知識や技術を繋ぐ役割を担っていきたいと思います。



地味ではあるが、役立つ仕事。 ダイナミックな仕事が魅力です。

株式会社双葉建設コンサルタント

技術本部長（37年目）



道路、橋、河川防災等の構造物の測量設計が我々の仕事で、工事業者の作業基盤となる重要な役割を担っています。地味な仕事ながら、災害を防いだり暮らしに役立つ財産を守る尊い仕事です。また、専門的な資格が重視される業界でもあり、私も入社以来コンサルタントとしてお客様の相談に乗るために、RCCMや1級土木施工管理技士をはじめ様々な資格を取得してきました。その甲斐あってか、国交省に8年程出向して高速道路維持の業務等に携われたことは大きな財産となっています。建設業は高度で幅広い知識も必要ですが、橋やダムなどのダイナミックな仕事が多く魅力的です。人の生活に必ず必要なので、今後なくならない仕事だと思います。

業界ではDX、ICT等の電子化が進んでいます。工事でも職人に依存しない、効率化や生産性向上、環境への配慮が求められるようになってきました。今後ますます若い人の活躍の場が増えてくる業界だと思います。

